



③ 地域環境の保全

1. 環境保全の推進

グループ各社で取り扱う法規制物質等は、関係法令に基づき適正な運用・管理に努めています。PRTR制度における指定化学物質の2016年度の取扱量等については、2015年度より減少しました。排出量の大半は、機器塗装で使用する塗料に含有しているキシレン、トルエン及びエチルベンゼンが占めています。

また、PCB廃棄物は、PCB含有が確認された使用済の照明用安定器43台について、適切に無害化処理を行いました。



詳細は [九州電力](#) > 関連・詳細情報 (P2参照)
> PRTR制度の指定化学物質の物質ごとの取扱量等実績・
発電設備のSOx、NOxの排出量等の実績(グループ会社)

《 PRTR制度における指定化学物質の取扱量等 》 単位:トン

	2014年度		2015年度		2016年度	
	会社数	実績	会社数	実績	会社数	実績
取扱量		39.8		30.1		29.6
排出量(大気)	7	20.0	8	13.4	8	11.8
移動量		100.1		74.1		82.7

(注) 事業所における年間取扱量1トン以上の第1種指定化学物質(特定第1種指定化学物質は0.5トン以上)について集計(法に基づく届出値を集計)。

《 PCB廃棄物の保有状況等(2016年度) 》 単位:台

	処理状況		保有状況	
	会社数	処理量	会社数	保有量
トランス	—	—	—	—
コンデンサ	—	—	—	—
安定器	1	43	—	—
合計	1	43	—	—

《 大気汚染物質の排出量 》

単位:千トン

	2014年度		2015年度		2016年度	
	会社数	実績	会社数	実績	会社数	実績
SOx排出量		2.1		3.6	4	3.2
NOx排出量	4	2.9	4	2.7	4	2.7

(注) ばい煙量の法的測定義務により、SOx・NOx排出量を把握している会社のデータを計上。

2. 森林の管理

九州林産(株)では、九州電力の社有林管理方針に基づくゾーニング施業(森林の機能・特性に応じた区分管理)や、FSC森林管理認証(適切に管理された森林に与えられる世界認証)の原則を遵守し、日々適切な森林管理に励んでいます。

なかでも、社有林管理方針・FSC森林管理認証の原則に共通する「生物多様性の保全」に対しては、施業前後に環境への影響度評価を必ず行うなど、美しい森林環境を将来に確実に引き継げるよう努めています。

また、社有林内に生息する希少植物やミヤマキリシマの群落に対する植生調査や巡視活動を定期的に行い、保全活動の拡充に向けた情報の蓄積・分析にも取り組んでいます。



希少種の株数・開花量等調査(植生調査)の様子



私の環境アクション

くじゅう九電の森における環境教育に「生物多様性」の視点も織り込み、九電グループの環境価値向上に努めていきます。

九州林産(株) 林業部
森林経営グループ
ふじき わたる
藤木 渉



当社では、九電みらい財団とともに、九州電力の社有林「くじゅう九電の森」(大分県由布市)において、次世代を対象とした環境教育を展開しています。ここでは、森の機能や役割、森と水と電気の関わりについて学び、学んだことを豊かな自然環境の中で体感する機会を設けています。

2016年度は、計19回開催し738名の方に参加いただきました。参加者から「また来たい!」、「とても勉強になった。」との感想を頂戴し、とてもやりがいを感じました。

今後は、健全な森の指標となる「生物の多様性」の視点をプログラムに織り込み、子ども達が生き物を通して「くじゅう九電の森」の豊かさを身近に感じ、森に関する理解がより深まるよう努め、九電グループの環境価値向上に貢献していきたいと考えています。

用語集をご覧ください

- PRTR(制度)
- キシレン
- トルエン
- 大気汚染物質
- 指定化学物質
- PCB(ポリ塩化ビフェニル)
- SOx(硫黄酸化物)
- NOx(窒素酸化物)
- SOx(硫黄酸化物)
- NOx(窒素酸化物)
- FSC(森林管理協議会)
- 森林管理認証
- 社有林